

1.

氏名 : Ms. Meera Sherchan

国名 : ネパール

所属組織 : 女性子ども社会福祉省 女性開発局 シャンジャ郡女性開発事務所

2. 基本情報

地理

- ◆ 内陸国であり北は中国、南、西、東はインドと国境を接する。
- ◆ 世界最高峰、エベレスト山を有する (8,848m)。
- ◆ 釈迦の生誕地 (ルンビニ)
- ◆ 面積 14 万 7,181km²。アジア大陸の 0.30%、世界の地表面積の 0.030%にあたる。
- ◆ 高度 100m 以下の熱帯地域テライから高度 7,000m 以上の 90 の峰まで地理的多様性に富む。
- ◆ 平均降水量は、ヒマラヤ地帯の北部乾燥地域ではわずか 160mm、一方、風上の傾斜地帯では 5,500mm である。

行政

- ◆ 5 開発地域
- ◆ 14 県
- ◆ 75 郡
- ◆ 98 町村(municipalities)
- ◆ 3,912 村落開発委員会
- ◆ 601 選挙区 (601 制憲議会議員、うち 197 名が女性)

人口

- ◆ 総人口 : 2,315 万 1423 人
- ◆ 女性 : 51% (1,158 万 7,502 人)。
- ◆ 男性 : 49% (1,156 万 3,921 人)
- ◆ 年間人口増加率 : 2.1%
- ◆ 合計特殊出生率 : 3.1
- ◆ 8 割弱の国民が農業に依存

3. ジェンダー主流化における 3 つの主要課題/障害

- ◆ ジェンダーについての概念が不明確である (ジェンダー主流化を福祉の対象として捉えている)。
- ◆ 地域レベルでジェンダー推進担当の手法が不明確である。
- ◆ ジェンダー主流化のアプローチにおいて焦点が定まっていない (多様な不利益集団の特定のジェンダーニーズを重視したアプローチがない)。

4. 現行の主要国家政策/計画における 3 つの優先事項

1. 意思決定レベルにおける女性の参画を最大化するための積極的差別 (positive discrimination)
2. ジェンダー配慮計画/予算
3. 女性に対する暴力 (VAW) の根絶活動における男性の関与

5. 職務内容

- ◆ 郡のジェンダー担当者として、ジェンダー主流化に関して郡レベルの官庁／NGO／市民団体との調整を図る。
- ◆ プログラムの立案／実施／モニタリング／評価が間違いなくジェンダーの視点からなされていることを確認する。
- ◆ 政党やメディアを含む非政府機関と行政とのパートナーシップと連携関係を築く。
- ◆ 行政サイドから女性のネットワークをリードする。

6. ジェンダー主流化にあたっての課題

ジェンダーに関する概念の不明確さ

7. 上記課題選定の理由

意思決定レベルでは大半が男性行政官で、郡レベルの計画にジェンダー問題が組み込まれていない。このためプログラムを企画する際、私は常に様々な困難に直面してきた。だからこそこのような行政官対象のジェンダー主流化研修を実施することは大変重要である。政策は優れているが、実行段階が脆弱である。

8. セミナーから得た知識とスキル

本研修を通して問題解決にあたり大変有用かつ実践的なジェンダー配慮 PCM について学ぶことができた。

9. ジェンダー主流化に関するアクションプラン

- (1) プロジェクトタイトル：郡レベルの利害関係者間のジェンダーに関する概念の明確化
- (2) 期間：2010年10月-2011年12月
- (3) 対象地域：シャンジャ郡レベル
- (4) 受益者層（ターゲットグループ）：郡レベル行政官 20名／郡レベルジェンダー担当者 20名
- (5) 実施機関：シャンジャ郡女性開発事務所
- (6) 上位目標：男女共同参画と女性のエンパワーメントが郡レベルのジェンダー計画／制度に反映される。
- (7) プロジェクト目標：参加者がジェンダー概念について明確なビジョンを描くことができる。
- (8) 活動：
 1. 能力強化
 - 1.1 郡レベル行政官 20名に対しジェンダー主流化研修を実施する（参加者 20名を 3日間で研修）
 - 1.2. ジェンダー担当官 20名に対しジェンダー主流化研修を実施する（参加者 20名を 5日間で）
 - 1.3.ジェンダー監査（1 関連省庁）を通じた評価（15 日間）
 - 1.4.レポート発表（50名）
- (9) 成果：
 - ◆ 利害関係者がジェンダーについての知識を獲得し、女性に対する態度に変化が生じる。
 - ◆ 郡レベルでの関連省庁間の協働が増進される。
 - ◆ ジェンダー開発計画人口のための財源が割当てられる。
 - ◆ 20 のアクションプランが作成される。